

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **745** November 2020

Special Issue : Essays Celebrating the Publication of the 90th Volume of *The Labour Year Book of Japan*

- Introduction to the Special Issue SUZUKI Akira
 Periodization of the 100 Year History of Publishing *The Labour Year Book of Japan* (Volume 1-90) HAYAKAWA Seiichiro
 Memoir of My Years at Ohara Institute for Social Research
 and My Experience as Editor of *The Labour Year Book of Japan*..... IGARASHI Jin

Article

- Establishment and Abolition of Accessory Labour and Its Successor System
 in Italy..... MIYAZAKI Rie

Book Reviews

- FUJINO Yutaka, *Postwar History of 'Black Feather'* SHIMANISHI Tomoki
 John Urry, *What is the Future?* NEGISHI Kaima

- Looking Back on the Compilation of *The 100 years History of the Ohara Institute for Social Research*..... ENOKI Kazue
 100 years History of the Ohara Institute for Social Research (Chronological Table)
 Bibliography of Publication on Labour and Social Issues
 Monthly Research Meeting TAKASE Hisanao
 The Institute's Activities in July 2020

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan
 web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>
 e-mail : oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
 法政大学大原社会問題研究所
 〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価(本体926円+税)
 年間購読 12,000円(税込)

大原社会問題研究所雑誌

745 2020.11

七四五号

【特集】第90集刊行記念

『日本労働年鑑』の歩み

【特集】第90集刊行記念 『日本労働年鑑』の歩み

- 特集にあたって 鈴木 玲 1
 『日本労働年鑑』(第1集～第90集)の時期区分について
 ——『年鑑』第90集、創刊100年を記念して 早川征一郎 2
 大原社会問題研究所の思い出
 ——『日本労働年鑑』の編集業務を中心に 五十嵐仁 16

■論文

- イタリアの付属労働(lavoro accessorio)制度の創設と廃止、そして後続制度
 ——ケア労働への利用に着目して 宮崎理枝 31

■書評と紹介

- 藤野 豊著『「黒い羽根」の戦後史』 島西智輝 50
 ジョン・アーリ著／吉原直樹、高橋雅也、大塚彩美訳『〈未来像〉の未来』
 根岸海馬 55

- 100年史編纂を終えて 榎 一江 60
 大原社会問題研究所100年の歩み(年表) 62
 社会・労働関係文献月録 74
 月例研究会 高瀬久直 77
 所報 2020年7月 78

二〇二〇年十一月

発行／法政大学大原社会問題研究所

発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2020年版 第90集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点
〈特集1〉 『日本労働年鑑』の100年

—時代を反映した構成の推移
〈特集2〉 社会保障制度とその財源
—格差縮小による経済成長と
財政赤字のもとでの社会保障
財源の確保

- 第1部 労働経済と労働者生活
- 第2部 経営労務と労使関係
- 第3部 労働組合の組織と運動
- 第4部 労働組合と政治・社会運動
- 第5部 労働・社会政策

〈付録〉 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計 / 年表

ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦
リスト

本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税
A5判・上製・544頁

70th ANNIVERSARY 旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No.723 2020年10月号 定価 852円+税 年間購読 11,244円(税込)

特集「あらためて賃金の「上がり方」を考える」

- 提言 賃金の上がり方は、なぜ違うのか 久本 憲夫
- 論文 社会・経済の環境変化が賃金に与える影響について 小野 浩
—高齢化、グローバル化、技術革新によるストレステスト
- 報酬管理と組織業績 江夏幾多郎
—業績給 (Pay for Performance) 研究についてのレビューから
- フランスにおける賃金決定 鈴木 宏昌
—産業別労働協約と企業レベルの団体交渉との微妙な関係
- 企業業績と賃金決定—賞与・一時金の変遷を中心に 荻野 登
- 日本における「賃金」の集团的・個別的不利益変更の手法と限界 朴 孝 淑
—なぜ賃金は引き下げにくいのか
- 労働者にとっての仕事の報酬—労働者は賃金で報われたいと思っているのか 田中 秀樹
- 柔軟な働き方は賃金をどう変化させるか 森川 正之
- 書評 松永伸太郎 著『アニメーターはどう働いているのか』 阿部 真大
—集まって働くフリーランサーたちの労働社会学
- 論文Today 従業員沈黙と発言における「構造的対立」 柳 煌 碩
- フィールド・アイ アメリカでの求職と就労について (ニューヨークから②) 大塚奈穂子

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
☎ 03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2020年7月号/8月号/9月号 定価 1,200円(税込)
75巻7号/8号/9号 年間購読 13,000円(税込)

- 7 【特集】労働組合の社会的役割と未来
◆チッソ労使関係史から見えてくるもの—責任ある労働運動が拓く地域社会の未来/石井まこと
◆両立支援から女性活躍へ：これからの労働組合/池田心豪◆労働組合という選択肢—身近な労働組合の可能性/本田一成◆コーポレートガバナンス改革と労働組合の存在意義/麻生裕子◆他
- 8 【特集】新型コロナウイルスと新しい労働生活(1) 人間工学の寄与
◆実践科学として社会に貢献する人間工学/吉武良治◆コロナ危機に人間工学ができること/下平義弘◆在宅ワーク・在宅学習で実践できる7つの人間工学ヒント/松田文字◆コロナ危機対応で広がる人間工学の応用と工夫/八木佳子◆With/Afterコロナにおける教育現場の実践/加藤麻樹◆他
- 9 【特集】新型コロナウイルスと新しい労働生活(2) ウィズ・コロナで問われること
◆パンデミックの歴史が警告するもの/濱田篤郎◆新型コロナの仕事や生活への影響と課題/渡邊木綿子◆新型コロナ影響下の教職員の労働実態とその課題/藤川伸治◆新型コロナウイルス感染症と安全衛生・労災補償/天野理◆ごみ収集作業への市民の感謝が意味すること/藤井誠一郎◆他

〒151-0051 公益財団法人 大原記念労働科学研究所 TEL: 03-6447-1435
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12 桜美林大学内3階 FAX: 03-6447-1436
HP: http://www.isl.or.jp/